

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	当ホームにおける「重度化した場合における指針(看取りの指針)」「医療連携体制について(サービス内容と医療機関との連携体制について)」職員間での共通認識になっていない部分がある。	左記の内容について職員間での理解を深め、共通認識となる。	当ホームで契約時に実際に家族等に説明している「重度化した場合における指針(看取りの指針)」「医療連携体制(加算)の内容」について、読み合わせをする。また、医療機関との連携体制について、職員間で再確認を行い、問題点はないか等の検討を行う。	2ヶ月
2	33	現在グループホームに求められている看取りに対するあり方への理解が不足している。	左記の内容について職員間での理解を深める。	グループホームにおける看取りに関する研究内容を元に、現在グループホームに求められている事や、その内容と当ホームでの看取りの指針の内容についてを比較し、検討する。	2ヶ月
3	33	「尊厳ある看取り」についての勉強が不足している。	左記の内容について職員間での理解を深める。	「尊厳ある看取り」についての関連資料も利用しながら、学習をする。また、当グループホームにおいて、「尊厳ある看取り」を実施するための方法について、職員間で話合う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。